

我孫子市石けん利用推進対策審議会
令和6年度第1回審議会 会議録

日時 令和7年2月18日（火）午後1時から午後2時30分
場所 生涯学習センターアビスタ 2階ミニホール
出席委員 植田博委員・大塚裕生委員・三須清一委員・佐藤祐子委員
藪腰静香委員
関係者 石けん利用推進協議会加藤マリ子会長
欠席委員 米田友義委員・古市織江委員

事務局 商業観光課長：秋田芳博、課長補佐：迫田暢介
消費生活係：大井和美、山田健治、武谷香慈美

傍聴 1名

会議次第 1. 開会
2. 商業観光課長挨拶
3. 委員自己紹介及び事務局職員紹介
4. 我孫子市石けん利用推進対策審議会の役割について
5. 我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する
条例の一部を改正する条例の公布について
6. 議題
（1）会長・副会長の選出について
（2）令和3年度から令和6年度石けん利用推進事業報告
（3）令和7年度石けん利用推進事業計画書(案)について
（4）その他
7. 閉会

配布資料 ・我孫子市石けん利用推進対策審議会委員名簿
・我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する条例
・我孫子市石けん利用推進協議会設置要綱
・令和3年度から令和6年度の石けん利用推進事業一覧
・令和7年度我孫子市石けん利用推進協議会事業計画書（案）
・リーフレット「石けんっていいね」石けん販売店一覧表

【進行：会長選出までは事務局商業観光課迫田課長補佐が仮議長として進行を務める。】

次第1 開会

○迫田補佐より審議会の条例第6条2項により、本日は、委員7名の内5名の出席がありますので、会議は成立することを報告する。また、審議会条例第6条4項により、関係者として我孫子市石けん利用推進協議会会長の加藤会長が出席されていることを報告する。傍聴者1名の報告する。

次第2 課長挨拶

○秋田課長挨拶

次第3 委員自己紹介及び事務局職員紹介

○委員自己紹介及び事務局紹介をする。

次第4 我孫子市石けん利用推進対策審議会の役割について

次第5 我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例の公布について

○事務局より「我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する条例」の一部改正についての主旨を説明する。併せて「我孫子市石けん利用推進協議会要綱」の改正報告をする。

議題

(1) 会長、副会長の選出

○事務局案により、会長に佐藤祐子委員、副会長に藪腰静香委員が選出される。(以降の議事進行：佐藤祐子会長)

(2) 令和3年度から令和6年度石けん利用推進事業報告

○事務局より令和3年度から令和6年度石けん利用推進事業について資料に沿って説明をする。

○佐藤会長：石けん啓発を行っている石けん協議会の加藤会長から何かあればお願いします。

○加藤協議会会長：手賀沼流域フォーラム事業への参加は、次世代の子供たちを育てていく上で重要です。生活の中で使用する水は循環

しているのだと知ることは大事な事。夏休みの自由研究としても発表されていて効果があるように思います。大人の出前講座などでは、表示を見て実際に石けんを分類したりプリプリ石けんの作り方の体験をしていただくことを考えています。

- 佐藤会長：令和3年度になぜNPO せっけんの街の工場を見学となったか。
 - 事務局：NPO せっけんの街は、廃油を回収して、リサイクル石けんを作っているのは、良く知っていましたが、協議会委員の中で工場を見たことがないという人がおられたので、廃油の回収から作成の工程などを見学させていただきました。また、袋入れも手作業で行っているなどを伺いました。
 - 藪腰委員：保育園関係の石けん使用が減ってきていると思います。
 - 佐藤会長：令和3年度にユーチューブ検討はどのようなことか。
 - 加藤協議会会長：石けんの理解を広めるために石けんは肌に優しい、環境に優しいことを短くまとめて作成しました。体験された方の手紙を元に作成しています。
 - 佐藤会長：石けん販売店調査はどのような状況か。
 - 加藤協議会会長：個人の店については、それほどおいてないですが、ドラッグストアで、石けんの特化したコーナーなどがありました。
 - 佐藤会長：令和5年度の太陽油脂工場で、RSPO 認証パーム油脂とはどのようなものか。
 - 槌田委員：森林環境に配慮した認証制度だと思います。
 - 三須委員：前々回の会議だと思うが水の汚染に配慮したものと驚きました。土地改良区でも20年ほど水質調査をやってきました。
 - 槌田委員：農業関係と協力できると良いと思います。
 - 秋田課長：農産物直売所においても、石けん販売を行っていますのでそこでリンクしています。
- (3) 令和7年度石けん利用推進事業計画(案)について
- 事務局より令和7年度事業計画(案)について資料に沿って説明をする。
 - 佐藤会長：学校や学童保育などいろいろな場所で啓発するなど考えてみてはいかがでしょうか。
 - 秋田課長：現在、学校給食及び市立保育園では、リサイクル石けんを使用しています。ただ、民間に移行した保育園については、中々難しいものだと思います。今後事業計画を検討していく中で、啓発の有無についても話していきたいと思います。

- 藪腰委員：ママへのご褒美フェスタからあびこで子育てに変わったのは、ジェンダー平等ということで、男性にも啓発したらよいのではないか。
- 事務局：あびこで子育てに変わったのは、やはりママだけでないというところから変わりました。今後、いろいろな場所で検討していきたいと思います。
- 加藤協議会会長：出前講座では、男性から石けんが使いづらいということで、酢のものだとふき取ってから使ってほしいと話しましたが、そのようなことは知らないなので、貼っておいてほしいと意見があったので、掲示物を検討しているところです。
- 佐藤会長：先日の手賀沼終末処理場の見学でも、やはり油を流さないことが、環境に大切なことだと思います。

(4)その他

- 加藤協議会会長：何か榎田委員のコメントをお伺いしたいと思います。
- 榎田委員：合成洗剤の問題はなくなっていない、その中で有害化学物質を減らしていくことが大切で、PRTR 制度などの化学物質がどのようなものか、知っていただくことが大事かと思います。
- 佐藤会長：いろんところで、石けんのまちあびこを啓発をしていたきたいと思います。

次第6 閉会